



年頭挨拶

岩手県知事 達増拓也

年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人岩手県測量設計業協会及び会員の皆様方におかれましては、設立当初から、岩手県の測量設計業界の健全な発展を図るため、会員企業の技術力の向上、品質の確保や経営基盤の強化等に努められるとともに、公共事業推進の重要な担い手として、社会資本の整備や災害復旧に多大なる御貢献を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年、設立40周年という記念すべき年を迎えられましたことに対しまして、改めてお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、平成28年の台風第10号災害の際に、発災直後から直ちに出勤体制を整え、被災情報の収集や災害査定の申請に向けた測量設計等に迅速に対応され、被災地域の災害復旧に多大な貢献をされたことに対しまして、改めて感謝申し上げます。

東日本大震災津波から7回目の新年を迎えましたが、県におきましては、平成29年度から平成30年度までの2年間の第3期復興実施計画の「更なる展開への連結期間」と位置付け、復興事業の総仕上げとして、一人一人の復興に寄り添いながら、その先にある「希望郷いわて」の実現に向け、総力を挙げて取り組んでいるところです。

また、平成28年の台風第10号災害につきましても、甚大な被害を受けた河川や道路等の復旧・改修を進め、水位周知河川の指定を図り、ハード・ソフトの両面から復旧・復興を着実に進めてまいります。

測量設計業は、近年多発する大規模災害や、老朽化が進んでいる公共土木施設の維持管理への対応等をしっかりと行っていく上で、県民の暮らしの基盤である社会資本の品質を左右する重要な業務であり、県民生活の維持向上や地域の発展に欠かすことのできないものとして、その役割への期待は、より一層大きくなっています。

今後とも、県民生活の安全・安心や快適な暮らしに寄与する、より質の高い社会資本施設を提供できるよう、岩手県測量設計業協会及び会員企業の皆様には、なお一層の御支援と御協力を頂きますようお願い申し上げます。

また、来年には、ラグビーワールドカップ2019™、三陸防災復興博（仮称）が開催されますが、東日本大震災津波の際に世界中から頂いた御支援への感謝の思いと復興の姿を国内外へ発信する絶好の機会と捉えています。これらの成功に向け、今後の準備や機運の醸成に一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人岩手県測量設計業協会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御多幸をお祈り申し上げて、新年の挨拶といたします。